



歩こうかい 4 月例会(通算 392 回)

花を愛でる Part2

佐名川堤の桜と豊川稲荷

2024 年 4 月 4 日(木)

天気:晴 ・参加者 9 名 <14,000 歩>

| |
|--|
| 名鉄諏訪町・・・日本車両製造正門・・・桜トンネル(花見)・・・佐奈川堤(花見)・・・桜ヶ丘公園(昼食)・・・ |
|--|

| |
|------------------------------------|
| 稲荷公園・・・豊川稲荷・・・門前茶屋・・・三明寺・・・名鉄豊川稲荷駅 |
|------------------------------------|

今年度は、コロナ禍で催行中止が続いた 2021 年のテーマ「花を愛でる」を Part2 として 8 回計画。

当初予定していた 4 月 3 日が大雨で催行が危ぶまれたが、予備日の翌 4 日は天気が回復し、年度初めの総会も兼ねた例会を無事催行することが出来た。

名鉄諏訪町駅に三々五々集合し、20 分程歩いて戦時中は東洋随一の規模とされた豊川海軍工廠(こうしょう)跡地に建てられた日本車両製造豊川製作所へ。

正門横に SL、奥に懐かしい 0 型新幹線や名鉄の古い車両が展示されている。



日本車両製造豊川工場

例年に比べ開花が遅れた桜は満開間近で、豊川公園桜トンネルを進むと、公園内には屋台が並び多くの方が祭りを楽しんでいた。

陸上自衛隊豊川駐屯地に沿って立ち並ぶ桜は満開で、垣根の色取り取りの山茶花も眼を楽しませてくれた。

佐名川堤のソメイヨシノは古木が多く、黒く太い幹とピンクの花が味わい深い。菜の花が咲く水辺を歩き、昼食場所の桜ヶ丘公園へ向かう。



豊川公園桜トンネル



屋台が建ち並ぶ



自衛隊豊川駐屯地前の径



佐名川堤の桜と川辺の菜の花

残念ながら、桜ヶ丘公園の桜は咲き終え、花見の昼食とはならなかったが、稲荷公園は満開で、桜をバックに集合写真を撮る。



稲荷公園の桜

太平洋戦争末期に海軍工廠で働いていた空襲犠牲者の供養塔へ着くと、地元の方が戦時中を偲び芋粥を振る舞っていて、呼び止められ美味しくいただく。

豊川稲荷を参拝し、門前の茶屋で甘味を楽しみながら総会行い、豊川弁財天の通称で知られる三明寺(さんみょうじ)を参拝の後、名鉄豊川稲荷駅から帰路に就く。



供養塔(下見で撮影)



豊川稲荷



三明寺の三重塔

記: 奥村正忠